

『かわら版』
第14回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みなさんの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。
「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、**みなさんが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切**です。

事故やけがに関するアンケート調査結果

アンケート

計 3,500人

対象

目的

回収率

41.8%

平成28年8月、市民3,500人を対象とし、「事故やけがに関するアンケート調査」を実施しました。今回は、アンケート結果から見てきた現状と、事故やけがを予防するワンポイントをご紹介します♪

- ①乳幼児の保護者 (0~6歳の未就学児)
- ②一般 (16~64歳)
- ③高齢者 (65歳以上)

事故やけがを予防する、より効果的な取組の検討や、セーフコミュニティの取組を評価・検証することを目的としています。



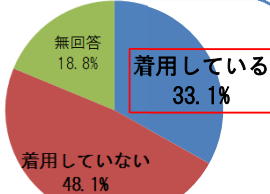
アンケートにご協力いただき、ありがとうございます♪

交通安全

ポイント

自動車の後部座席にもシートベルト着用の義務がある!

調査結果によると、着用義務は9割の人が知っていましたが、**実際に着用している人は3割程度**でした!



重要!

後部座席シートベルトを着用していなかった人の致死率は着用者のなんと**4.8倍**(※平成27年交通安全白書より) 面倒くさいと思いますが、シートベルトは自分や家族を守る大切な命綱です。必ず全席で着用しましょう!!



高齢者の安全

ポイント

実は住み慣れた家の中に転倒の危険が多い!

毎日出入りする玄関の段差やマット、足元に置いてある荷物などで転んで、骨折につながることもあるようです。

転倒が多い**場所** トップ3

- 1位 玄関・廊下
- 2位 階段
- 3位 居間

ポイント

整理整頓を心掛けて、転ばない住環境づくりを!

こんなことないですか?

- 玄関の段差や階段で転びかけたことがある
- 置きっぱなしの新聞や雑誌で滑ったことがある
- 家電のコードに足が引っかかったことがある
- ちょっとした段差につまづくことがある
- 寝床のそばに照明のスイッチが無い (暗がり歩いて照明を付けないといけない)

チェック



子どもの安全

ポイント

子どもの危険は**自宅**の中に!

けがが多い**場所** トップ3

- 1位 自宅内(屋内)
- 2位 保育園・幼稚園など
- 3位 自宅の庭など(屋外)

転倒以外にも、やけどや誤飲など子どもの危険はさまざま! 家庭内の危険箇所マップを作成していますので、子どもの目線でそれぞれの対策を確認してください。

注意

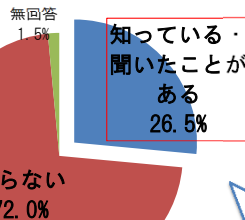
0歳~6歳の子どもが一番けがをする場所は、なんと**自宅!** 中でも最も多いのは**転倒**という結果でした。



鹿児島市 子どもの安全

セーフコミュニティの認識度

課題



セーフコミュニティを知っている方は3割に満たず、より一層の周知・広報が課題です。今後、セーフコミュニティの取組を全市に展開してまいりますので、皆さんがお住まいの地域でも一緒にセーフコミュニティに取り組みましょう♪

安心安全

今回ご紹介したアンケート調査の結果は、市ホームページで公開しています。事故やけがに関するたくさんの情報が掲載されていますので、身の回りの事故やけがの予防活動にお役立てください。



鹿児島市では、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係(市役所東別館3階)
TEL: 099-216-1512 FAX: 099-226-0748